

ぐりぶーペパクラ組立説明書

【はじめに】

作り方が少しむずかしいので、適当に作ると仕上がりが残念な結果になります。じょうずに作るためにはいくつか気をつける事があります。

まず、型紙は少し厚みのあるケント紙などに印刷し、カッターなどで正確にカットしてください。接着には木工ボンドがおすすめです。あまりたくさん付けると、はみ出して見苦しくなります。すき間が空いてしまったら、紙の切れ端やつまようじなどでボンドを付けましょう。説明書に従って端からできるだけ隙間なく組み立てていきましょう。カット面は紙の白色が目立ちますので、気になる方は黒または同色系の薄い色のサインペンなどで色を塗りましょう。インクで手が汚れてペパクラに色が移ってしまうので、お手ふきなどを用意してください。

- 1 頭は、ぐりぶーファミリーを参考に、図のように組み立ててください。



- 2 体は前と後ろを別々に組み立てて、図のようにのりしろで組み合わせます。手を差し込む部分も忘れず切っておきます。



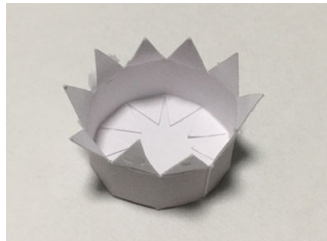
- 3 手は裏表を接着して組み立てます。しっぽやトーチの炎なども同様に接着しておきます。



- 4 手の向きを間違えないように注意して胴体に差し込み、胴体の首部分ののりしろにボンドを付け、頭の裏側に接着します。



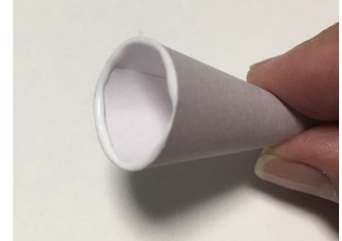
- 5 トーチを組み立てます。トーチの台座は、図のように、縁で輪っかを作り、上下の円を接着します。



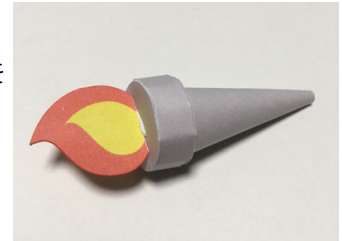
- 6 円の片側は、図のように炎を差し込む切れ目を入れておきます。



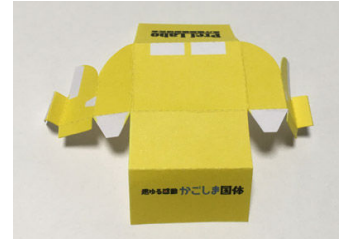
- 7 トーチの握り手部分はコーンのように丸く組み立て、円の縁にボンドを付けます。



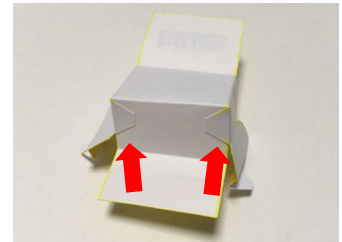
- 8 炎の差し込み口にボンドを付け、台座に差し込みます。7でボンドを付けた握り手を、台座の裏側にそのまま接着します。



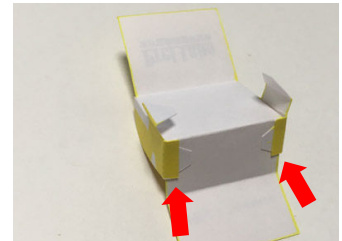
- 9 車いすを組み立てます。図のように折り目を入れておきます。



- 10 図の矢印部分ののりしろを接着します。



- 11 10ののりしろの上から図の矢印部分を接着します。



ぐりぶーペパクラ組立説明書

12 11で接着した部分にかぶせるように背もたれの裏部分を接着します。



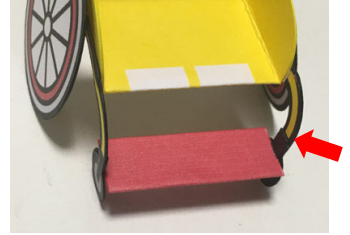
18 後輪の台形部分に合わせて車いすののりしろを図のように接着します。



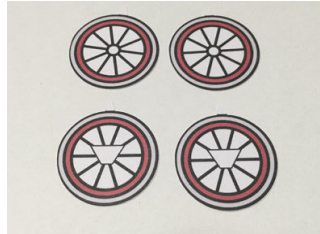
13 反対側も図のように接着します。



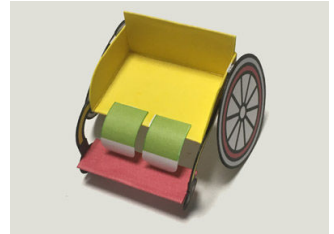
19 足置きを矢印の黒い部分が重なるように接着します。



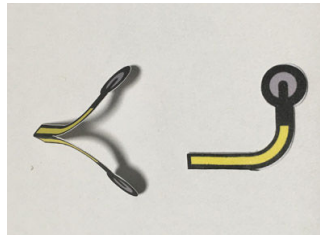
14 後輪の裏表を貼り合わせたものを二組つくります。車輪は中央が○のものと台形のものを一組として接着します。



20 車いすの白い部分に合わせて足を接着します。ぐりぶーの体下ののりしろにボンドを付け、車いすに接着します。背もたれ部分にもボンドを付けると安定します。



15 前輪を図のように貼り合わせて二組つくります。

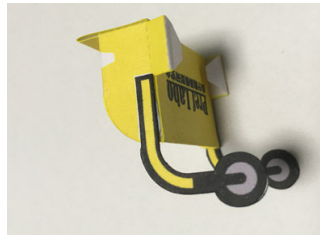


21 しっぽの付け根にボンドを付け、図の位置に差し込みます。



手とトーチをボンドで接着すると完成です。トーチはぐりぶーのほお部分にもボンドを付けると安定します。

16 図の位置に合わせて前輪を接着します。



17 後輪ののりしろ部分を、車いすの図の位置に合わせて接着します。裏表を間違わないように注意してください。



ぐりぶーファミリー ペーパークラフト

- ・接着は木工ボンドがおすすめです
- ・実線(——)は、はさみで切る
- ・破線(----)は、山折り
- ・一点鎖線(- - - -)は、谷折り
- ・赤丸(●)は、差し込み

